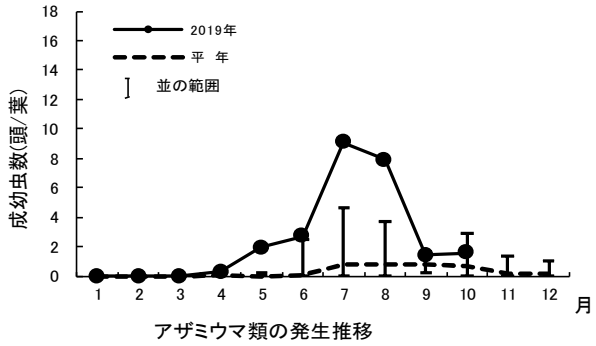
平成　31 年度　　11 月予報

| 作物 | マンゴー | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① チャノキイロアザミウマ | | |
| 予報 | 11 月の発生量（平年比） | 並 | |
| | 10 月からの増減傾向 | ↘ | |
| 予報の根拠 | 10 月の発生量（平年比） | 並 | |
| | その他<br>(気象要因など) | 平年の発生量の推移（↘） | |

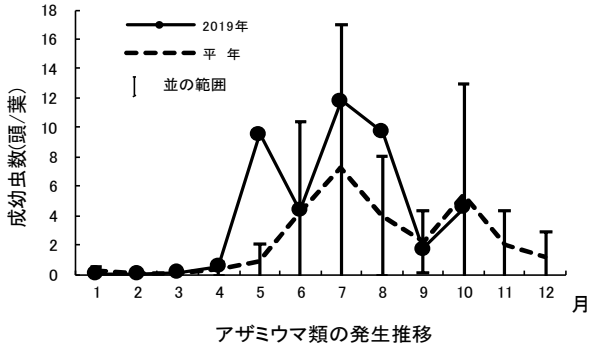
調査結果

（見取り調査）

〈中央値〉

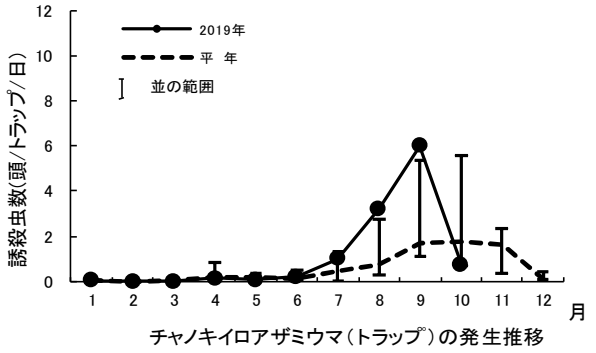



〈算術平均値〉

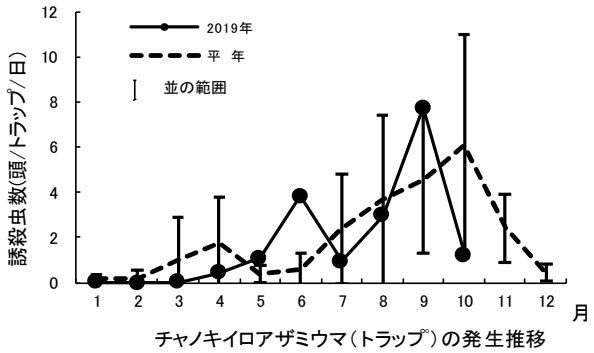



（トラップ調査）

〈中央値〉




〈算術平均値〉




防除のポイント

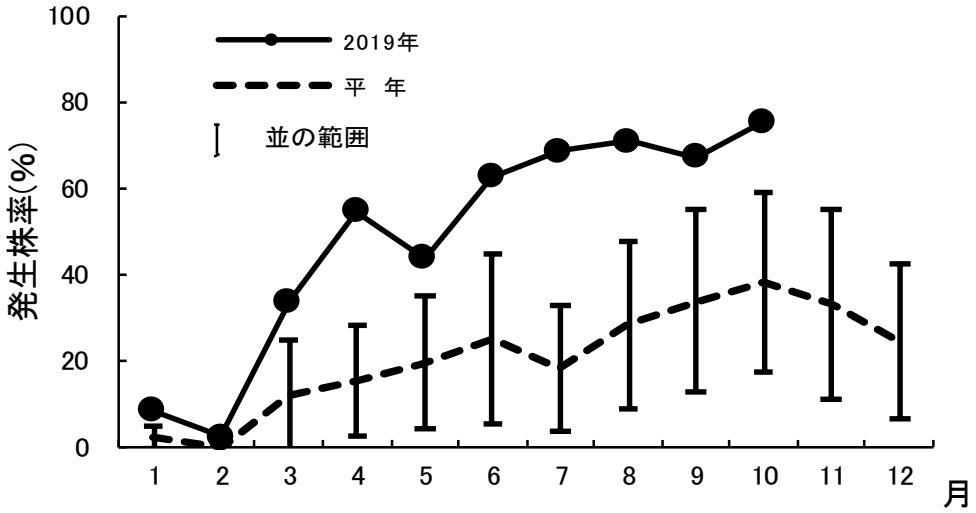
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　11 月予報

| 作物 | マンゴー | | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ② マンゴーハフクレタマバエ | | | |
| 予報 | 11 月の発生量（平年比） | やや多 | | |
| | 10 月からの増減傾向 | ↘ | | |
| 予報の根拠 | 10 月の発生量（平年比） | やや多 | | |
| | その他<br>(気象要因など) | 平年の発生量の推移（↘） | | |

調査結果




マンゴーハフクレタマバエの発生推移

- 被害新梢率：37.4%
- 発生施設率：100%（平年64.9%）
- 病害虫防除員報告：中発生（本島北部）

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

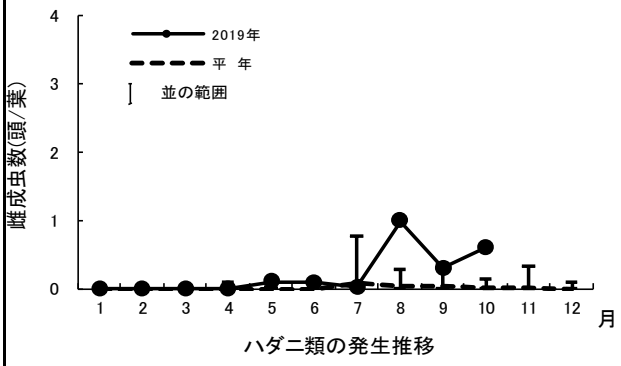
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

平成　31 年度　　11 月予報

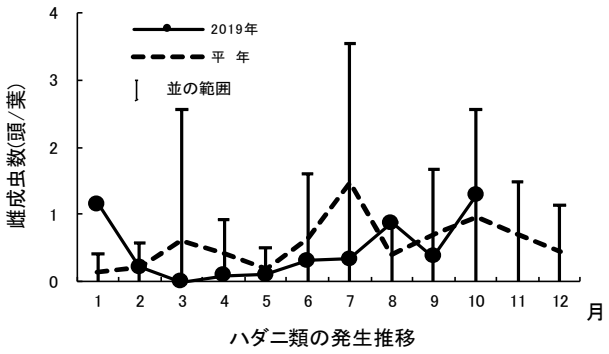
| 作物 | マンゴー | | 地域 | 沖縄群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ③ ハダニ類 | | シュレイツメハダニ | |
| 予報 | 11 月の発生量（平年比） | 並～やや多 | | |
| | 10 月からの増減傾向 | ↘ | | |
| 予報の根拠 | 10 月の発生量（平年比） | やや多 | | |
| | その他 (気象要因など) | 平年の発生量の推移（↘） | | |

調査結果

〈中央値〉




〈算術平均値〉




- 発生種：シュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ
- 発生施設率：87.5%（平年50%）
- 新梢での寄生雌成虫数：0.1頭（発生種：シュレイツメハダニ）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症